

科目名	子ども理解と教育相談(演習)		科目ナンバー	CC-EC1210-Ck		
担当者 (実務経験名)	講師 前田亜由美(保育士, 幼稚園教諭) 特任教授 福嶋真郷(中学校教諭, 小・中学校副校長, 教頭 教育委員会主任指導主事)					
履修期	2年 前期			卒業単位	選択 2単位	
免許・資格	保育士選択・幼稚園教諭免許必修					
授業概要	教育相談において、保育士・幼稚園教諭には専門性の向上が求められている。講義では、基礎となる子どもの発達と特徴を知り、様々な相談事例を取り上げながら、理論と知識を学ぶ。さらに、事例検討を含めたロールプレイ、グループワークを通して、教育相談を行うための具体的な方法を考え、教育相談の実践力を身につける。					
到達目標	知識・理解	1. 専門性をいかした教育相談の意義、あり方について説明できる。 2. 相談における態度、方法、技術を習得し、保護者との信頼関係に基づく支援について、具体的に説明できる。 3. 関係機関や社会資源との連携の必要性と、協働において留意すべきことを説明できる。				
	思考・判断	1. 具体的事例を通して考え、検討する力を培う。 2. 教育相談に必要な、子どもの発達や養育力向上のための援助の知識や方法を理解し、わかりやすく相手に伝えることができる。				
	興味・意欲・態度	相談における基本的態度について、架空事例を通して学習し、現場で活用できる力を養う。				
	技能・表現	1. 保育者として適切な支援を行うために、現場で活用出来る言葉かけなどを習得する。 2. 具体的事例を通して、教育相談のインテーク・アセスメント・プランニング・インターベンション・モニタリング・エバリュエーションを行うことができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション: 保育における子ども理解の意義		シラバスを確認する。授業で使用した資料をまとめる。		4
	2	子ども理解に基づく養護と教育の一体的展開		保育所保育指針・幼稚園教育要領の総則を読み、まとめる。		4
	3	保育の環境の理解と構成		子どもにとって好ましい環境とはどういうものか考えてくる。		4
	4	教育相談とは何か(その1)		「教育相談」と聞いてイメージすることを列挙する。		4
	5	教育相談とは何か(その2)原理や方法を知る		苦手だと思ふタイプを列挙する。		4
	6	教育相談とは何か(その3)自己を知る		自分の価値観や見方を振り返る。		4
	7	保護者を取り巻く環境を考える(全体の傾向)		資料から「子育て不安」の現状をつかむ。		4
	8	保護者理解の視点、価値観の違いをどう克服するか		子育て環境について調べまとめる。		4
	9	保育における相談援助、子どもを取り巻く環境		子育て環境について調べまとめる。		4
	10	子どもの発達段階と子育て相談		子育て環境について調べまとめる。		4
	11	事例研究法、事例を見るとはどういうことか		事例研究法について調べてくる。		4
	12	架空事例を通して考える(1)		架空事例を通して考える(1)で学んだことを整理する。		4
	13	架空事例を通して考える(2)		架空事例を通して考える(2)で学んだことを整理する。		4
	14	外部機関との連携		連携して支援できる外部機関や専門職を調べる。		4
15	まとめ		これまでの授業で学んだことを整理する。		4	
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○		○	30%
	課題					
	実技		○	○	○	40%
	受講状況・態度		○	○	○	30%
その他()						
フィードバックの方法	提出した課題・レポート等は添削し返却する。さらに、講義の中で、口頭によりフィードバックする。					
教科書	教科書は使用しない。 毎回配布プリントを用いる。特になし					
参考書	参考書等は、適宜、紹介する。					
アクティブ・ラーニング	架空事例を用いる講義では、グループワーク、ディスカッションを行う。					
ICT活用	パソコン室または貸出用iPadを用いて、幼稚園だより、文部科学省、各自治体の通達、その他の情報を精査します。					
メッセージ・備考	授業の中で多くの事例や時事的問題に触れますので、しっかり考えましょう。。また、授業の終わりに次回のテーマに関する課題を投げかけますので、自分なりの答えを考えて授業に臨んでください。一緒に楽しく学びましょう。					
関連科目	発達心理学演習、子ども家庭福祉、特別支援保育1・2、その他の保育・教職専門科目					